

野外活動サークル 【聖徳太子御陵周辺を巡る】

コース：太子町役場→孝徳天皇陵、竹内街道歴史資料館、道の駅等自由見学

→科長神社、小野妹子墓(昼食40分)→二子塚古墳→推古天皇陵→用明天皇陵→

西方院→叡福寺→和みの広場(解散)



太子町役場集合 出席確認



王陵（おうりょう）の門



マンホールの蓋に太子の制定した17条憲法の

古墳が集中し、天皇、皇族級の大古墳が多い
ことから王陵の谷と呼ばれている

「和を以って貴しと為す」の一文



スタート前の準備体操



八重桜



ボランティアさんから万葉歌碑の説明を聞く



太子町役場万葉歌碑

「明日香川黄葉流る葛城の山の木の葉は今し散るらし」
明日香川（あすかがは）黄葉（もみちば）流る葛城（かづらぎ）の山の木（こ）
（訳）明日香川にもみじが流れている。この分では、葛城（かつらぎ）
の山の木の葉は、今頃しきりに散っていることであろう。



孝徳天皇陵に向けて歩く途中竹の花



竹内街道



しもの地蔵尊



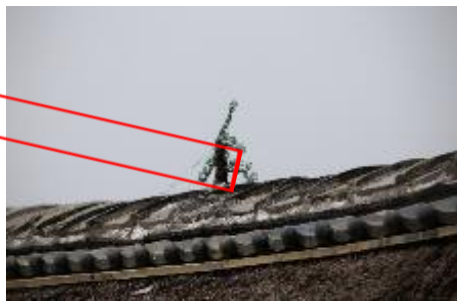
軒下gallery



昔の井戸



大道旧山本家住宅（かやぶき大和棟民家）屋根の上に松の木、庭に竹、梅、松竹梅で縁起が良いと大工の計らい



孝徳天皇陵



役行者の祠（山本家住宅近くの山側）



かみの地蔵尊



餅屋橋（峠越え前の腹ごしらえに、ここで餅を振舞っていたそう）



観音堂



観音堂を過ぎると綺麗な牡丹



科長神社へ



科長神社



小野妹子墳（遣隋使）



小野妹子墳近くの東屋で昼食



サークル長より次回の連絡事項

守り本尊の如意輪観音の守護を託され、坊を建て、朝夕に仏前に花を供えたのが池坊の始まりと言われています。



推古天皇陵へ



推古天皇陵



二子塚古墳（双方墳という

1辺60mの方形墳で、最初の女帝である推古天皇と、その子竹田皇子の合葬陵と言われています。 **めずらしい形の古墳）**



用明天皇陵



用明天皇陵近くより叡福寺



植木屋墳墓 この墳は古くから

天皇陵としてはトップクラスの1辺100mの方形墳

蘇我馬子の塚と言われている



三尼公御廟所（622年に聖徳太子が死去した後、聖徳太子の乳母であった三人の侍女が出家。善信（蘇我馬子の娘）・禅蔵（小野妹子の娘）・恵善（物部守屋の娘）により、聖徳太子の御廟がある叡福寺の門前にその塔頭として法楽寺の寺号で創建されました。聖徳太子作の阿弥陀如来像を本尊として、太子の遺髪を納めたと伝わっています。）



西方院(さいほういん) 聖徳太子作の阿弥陀如来像がご本尊。

阿弥陀如来



十一面観音菩薩



西方院の座敷より庭園



鐘楼下部内部



鐘楼堂



本堂前には結縁南沸太子像



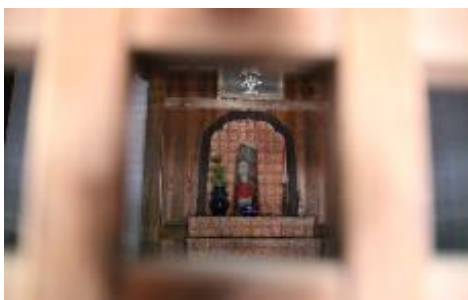
西方院より叡福寺



西方院より叡福寺へ向かう



叡福寺への橋



叡福寺南大門前南大門前にある、**隔夜堂**（阿弥陀如来石仏、地蔵菩薩石仏）



南大門左右に金剛力士



綺麗な藤の花が満開

金堂（本尊は如意輪観音の坐像） **宝塔**（本尊は東面に釈迦・文殊・普賢の三尊像西面に金剛界の大日如来を安置,4本の柱には四天王の像が描かれています）



ボケ封じ観音とおびんづる様



聖徳太子御廟（横穴式石室で、太子と太子と母后・穴穂部間人皇女、妃・膳部大郎女の三体を合葬した三骨一廟です。）

磯長廟(しながびょう)

廟内の様子

・三骨一廟

正徳を利用した横穴式石室で内部は横穴式石室となっており、太子御廟は石室の西側に、観音の基壇（外側・浅き三郎基壇）で取り囲まれ、聖域と俗界とを隔てる。

太子の遷去に先立つこと二ヶ月、御母・穴穂部間人皇女がお亡くなりになり、太子遷去前日には御妃・膳部大郎女がお亡くなりになった。三人共に当御廟に合葬し祀られ、世に磯長の三骨一廟とされている。

・磯長

六十二年（推古二十年）二月二十一日（大隅暦四月十一日頃）四十九歳で磯長宮にてお亡くなりになられ、国民は「日月様を失い天地は崩れた」との想いをなし、悲しむ泣く声が行路に満ちた。国民悲しみのうちに御尊體を当御廟に葬り奉った。太子は御廟終にあたって増王太子に「諸君共々、衆善奉行（注）という佛性の根本義を以て遺言とせられた。

（注）もちろんの意を作ることなく、もろびとと善を行いなさいという意。（七仏通戒撰）

・磯長廟の遷定

太子二十七歳のとき、神馬甲斐の黒駒に乗り、天上を駆け登り富士山頂に上った折、西方より五色の光を見出してこの地を望んだ。太子は比類のない霊地だと悟られ、この地を自らの墓所と定められた。

太子廟の麓山は太子が黒駒と共に降り着いた地「五字ヶ峰」と呼ばれ、宝篋印珠を建立し供養がなされている。



聖徳太子廟窟偶

中央にカメの頭



聖徳太子御廟の門



弘法大師



和みの広場



サークル長解散挨拶



本日お世話頂きました27期のメンバー

27期生の皆様に御世話いただき、有意義な一日を過ごさせて頂き有難う御座いました。

